

15号
2010

12月議会号

子どもは
風の子
元気な子



 議会だより

足代小学校

東みよし

主な内容

4年間を振り返って.....	2
旧モラロジー施設解体に 3,000万円	6
一般質問に5人登壇.....	8

発行：徳島県東みよし町議会

町を振り返って

各議員に 60 字で4年間の議員活動を振り返っていただきました。

長谷川 吉正 議員

合併による厳しい財政事情の中、年4回の定例議会で毎回一般質問ができて、充実した4年間でありました。



木村 吉男 議員

合併から4年は早かった。しかし短い期間の中でそれぞれに環境の違う町と町なのによくすりあわせができたと思う。



大南 勝 議員

私は、旧三加茂公共下水道事業に皆様と共に反対してきました。一番大きな仕事でした。民意を町政に反映すべく頑張って参りました。

斉藤 雄二 議員

合併して4年、町民の方々の痛みを伴いながらの行財政改革を行い借金も減りました。次なる町づくりへ前向きに取り組むことが必要と感じています。



横山 幸一 議員

小さな合併を町民の力でできてよかったと思う。新しいまちづくりに向けて皆さんの要望に応えるべく頑張ってきました。



安宅 博 議員

合併により不公平感を抱く方もいるが、この4年間公平公正な行政を念頭に置いて皆様の信頼が得られるよう取り組んできました。



中川 祐司 議員

行財政改革を進めながら、町民の皆様のニーズに応えられるよう努力してきました。融和と協調の着実な歩みを感じています。



横関 秋義 議員

勉強不足のため町全体を知ることができずお世話できなかった事、心苦しく思います。老いの身に鞭打って明るい町づくりに尽くしてきました。

年頭のご挨拶

議長 横関 秋義

町民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。平素は、東みよし町議会に対し暖かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、昨年は自民党政権から民主党政権に交代した大きな変化のある年でした。政権交代への大きな期待と不安の入り混じった年であり、また、新型インフルエンザに振り回された年でもありました。本町も厳しい財政状況の中、行財政改革を推進しつつ住民サービスの向上を目指し、努力しているところです。

さて、私達議員は、今年4月15日を以って任期満了を迎えます。次の3月議会が最後の議会となりますが、議会だよりの発行の都合上、この第15号(12月議会号)が在任広報委員の最後の編集となります。これまでの4年間、町民の皆様から戴きました数々のご指導に心から感謝申し上げます。

本年が、東みよし町と町民の皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい年でありますよう祈念しますとともに、議会への変わらぬご指導と、ご支援をお願い申し上げ年頭のご挨拶と致します。

4年間

川原 正一 議員

新町の誕生も変革である。自民から民主への政権交代でもある。既成の観念にとらわれない創造的な思考が求められる時代である。



宮 賢司 議員

2町による小さな合併をして町民の融和を第一に町づくりを進めてきました。4年を経て、その成果が少しずつ出ているように思います。



坂本 健二 議員

議会人として町民と連携し希望に満ちた町づくりをめざして頑張ってきました。新しいまちづくりに貢献できて良かったです。



安藤 孝明 議員

東みよし町が誕生し両町の長い歴史と素晴らしい文化が融合し町民皆様のご理解ご協力により新しい町作りが着実に進んでいると思う。



加藤 義博 議員

光陰矢の如し。厳しい雇用情勢のなか、産業の発展に向け企業誘致などさらなる努力が必要。



坂本 正一 議員

皆様のご理解ご協力を賜り小さな合併ながら大きな成果を得た。行革に重きを置きながら夢のある心豊かなまちづくりに努力しました。



12月定例会は、12月9日から12月18日までの10日間の会期で開催しました。

この定例会では、平成21年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・条例の改正・制定、契約の締結など合計13議案を審議し、いずれも原案の通り可決しました。

一般質問には、5議員が登壇して、学校給食センターの統合問題について活発な質問を展開し、町の考えをただしました。

補正 共聴施設撤去費に 8,000万円

町が実施している情報通信網設備事業の一部であるケーブルテレビ整備に伴い、現在、各地域で運営されている町内19共聴組合のほとんどが運営停止することになります。

そのために、各組合では既存施設の撤去を行う必要が生じてきますが、撤去費の捻出に苦労される組合が多いことから、かねてから各共聴組合から町に対し撤去補助の要望があがっていました。

町としては多数の住民に影響を及ぼす事案であることを考慮し、撤去費に対する実費補助を行うことを決定しました。当該設計委託費として300万円、各組合への総補助金概算額として7,700万円が計上され、議会もその方針を承認しました。財源は、国からの地域経済対策臨時交付金です。

新型インフルエンザ ワクチン接種補助拡大 673万3千円

新型インフルエンザワクチン接種軽減補助を拡大し、1歳から小学3年生までと、妊婦を対象に1回目(3,600円)の接種費を全額補助します。それに加え、町単独で1歳から小学3年生までの2回目の接種費2,550円のうち1,050円を補助。また、小学4年生から中学生についても1回目の接種費は半額の1,800円、2回目は1,050円の補助をします。財源は、県補助金131万1千円、町のお金542万2千円です。



補正 12月補正予算の結果

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計(第11号)	1億5,613万2千円	97億2,773万3千円
公共下水道事業(第2号)	—	3億6,232万9千円
水道事業(第2号)	500万円	9,307万3千円

東山、石木地区から岸上地区を結ぶ林道岸上石木線。かねてから森林資源の循環利用を促進するため、林内路網の整備を実施しています。今回、新たに延長200メートル、幅員3メートルで開設計画を実施します。事業費は2,000万円。財源はすべて国の交付金です。



岸上石木線 終点

林道開設工事岸上石木線に 2,000万円

町情報通信網整備事業に 関連する2つの条例

◆「東みよし町情報通信網整備分担金条例」

今般の情報通信網整備に伴い、町光ケーブル網によりテレビ放送等の受益を受ける者から、地方自治法第224条の規定に基づき分担金を徴収するための条例です。

◆「東みよし町情報通信網整備事業基金条例」

徴収した分担金を後年の地域情報化の推進に必要な経費の財源に充てられるように、また、分担金等を原資とする取り崩し可能な基金を創設するための条例です。



情報通信 屋外工事

情報通信網整備関連の工事請負契約3件

工事変更 請負契約の締結

**4,340万
1,750円の追加**

■契約名 平成20年度東みよし町加入者系施設整備事業 センター設備及び伝送路工事

■契約先 株式会社四電工 徳島支店

変更前 **4億8,079万5,000円**
▼ +4,340万1,750円

変更後 **5億2,419万6,750円**

主な変更としては、山間地域でムササビ等による光ケーブル噛み切り事故が発生したため、そういった危険のある区間約20kmについて、噛害対策ケーブルへの変更を行うことや伝送路工の追加及び三加茂、三好両庁舎の電気空調設備の増設となっています。

工事請負契約の締結

6億9,195万円

■契約の目的 平成21年度東みよし町地域情報通信基盤推進交付金事業 告知放送及び引込・宅内工事

■契約方法 指名競争入札(7社)

■入札率 83%

■契約先 株式会社NTT西日本・四国 徳島事業部

■工期 平成21年12月11日～平成22年3月30日

工事変更 請負契約の締結

42万3,150万円の追加

■契約名 平成20年度東みよし町加入者系施設整備事業 通信設備工事

■契約先 西日本電信電話株式会社 徳島支店

変更前 **1億290万円**

変更後 ▼ +42万3,150円

1億332万3,150円

変更内容は、先に記載した(株)四電工の伝送路工事の追加に伴うもので、センター機器の一部増設となっています。



情報通信 室内工事中

東みよし町議会では、教育厚生、総務産業建設の2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを12月11日、15日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。その主な内容を報告します。

総務 産業 建設

水道管布設工事

町道三庄小学校線

町道三庄小学校線改良工事に伴う工事として、水道管布設工事を継続して行います。昭和44年に口径28ミリの水道管で布設されていますが、今ではこの口径の管の製造をされていないことから修理にも支障をきたしています。今回の布設替え工事で50ミリに変更することによって、水の不便も解消されると思います。工事費は300万円。総延長300メートル。



町道三庄小学校線

教育 厚生

旧モラロジー施設解体

施設の老朽化による



老朽化した旧モラロジー施設

平成14年1月、旧三好町時代に財団法人モラロジー研究所から買い取った総面積2万9,757平方メートルの四国生涯学習センター。敷地内には、本館（現東部福祉センター）をはじめ、職員住宅、宿泊棟、迎賓館などの施設がありますが、本館を除いていずれも老朽化のため危険な状態です。今回、国の経済危機対策臨時交付金3,000万円を利用して解体します。解体後は更地にして、今後の活用方法を考えながら管理をする予定です。

教育 厚生

加茂小学校管理棟

跡地には体育館を建設



建設中の管理棟の視察

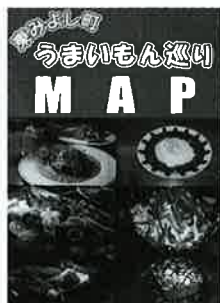
現在、加茂小学校の新しい管理棟が急ピッチで建設されていますが、既存の管理棟の解体工事費が予算計上されました。昭和40年12月に建てられてから44年が経つ、鉄筋コンクリート2階建ての管理棟。今春解体する予定です。また、玄関前にある松の木などの植栽や庭石なども移設、撤去する予定です。工事費は1,413万1千円。

総務 産業 建設

観

光マップ「うまいもの巡り」製作補助に25万円

東みよし町商工会では、東みよし町（特に年間100万人以上の利用者がある吉野川ハイウェイオアシス）や近隣町村へこられた方に対し、当地の飲食店情報を提供する観光マップ「うまいもの巡り」を約1,000枚作成します。観光マップを活用することによって、オアシスなどの拠点と地域が連携した魅力あるエリアを構築することを目的とします。商工会への補助金は25万円です。



うまいもの巡りマップ

東みよし町商工会では、東みよし町（特に年間100万人以上の利用者がある吉野川ハイウェイオアシス）や近隣町村へこられた方に対し、当地の飲食店情報を提供する観光マップ「うまいもの巡り」を約1,000枚作成します。観光マップを活用することによって、オアシスなどの拠点と地域が連携した魅力ある

ふるさと雇用再生特別基金事業

JA阿波みよしの取り組み

近年、東みよし町、三好市内にある農地については、多くの優良農地が耕作放棄地として点在しているのが現状です。

このような、耕作放棄地の発生要因で最も多い理由が、地域農業の主力を担ってきた農業者の「高齢化・労働力不足」によるものです。今後、高齢者の引退が本格化してくると、ますます耕作放棄地が増加することが懸念されます。

これまで三好市・東みよし町担い手育成協議会は、国の支援事業を活用

し、草刈機等を購入、また、JA阿波みよしに放棄地再生作業を委託し、解消にむけた取り組みを実施してきました。しかしながら、再生された農地が営農に結びつかず、放棄地の完全解消に結びつかないのが現状です。

そこで、担い手協議会自らが農業の担い手となることは不可能であることから、「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用して、同協議会会員であるJA阿波みよしが、地域農業の担い手として「ファームサービス事業

体」を創設し、三好地区に耕作放棄地の再生に取り組んでいます。



耕作放棄地再生ポスター

「ファームサービス事業体」を創設し、三好地区に耕作放棄地の再生に取り組んでいます。

- 事業主体 三好市・東みよし町担い手育成総合支援協議会 / 会員 JA 阿波みよし
- 事業費 2,683万 4,800円 -
- 負担割合 国費50% 県費25% 三好市5% 東みよし町5% JA 阿波みよし15%
- 購入機械 トラクター・畦成形機・管理機・移植機・大豆播種機・汎用コンバイン
田植機・コンバイン・乾燥機・動噴・タンク他

陳 情

陳 情 の 名 称	代 表 者	結果	
非核自治体宣言（決議）を基とした平和行政を求める陳情書	日本青年学生平和友好祭 徳島県実行委員会 実行委員長 谷 慎也	趣旨 採択	全員 賛成
NPT 再検討会議での積極的役割を政府に求める意見書の提出を求める陳情書	非核の政府を求める徳島の会	保留	全員 賛成
電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について	ダム・発電関係市町村全国協議会 会長 辻 一幸	採択	全員 賛成
消費税によらない最低保障年金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について	全日本年金者組合徳島県本部 執行委員長 吉本 茂則	採択	全員 賛成
2010 年度年金の減額改定を行わないことを求める意見書の提出について	全日本年金者組合徳島県本部 執行委員長 吉本 茂則	採択	全員 賛成
乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書	新日本婦人の会 徳島県本部 会長 中嶋 啓子	採択	全員 賛成
細菌性髄膜炎から子どもたちを守るワクチンの早期定期接種化等を求める意見書	新日本婦人の会 徳島県本部 会長 中嶋 啓子	採択	全員 賛成
電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い	(社)徳島県設備業協会 会長 岡本 敏雄	採択	全員 賛成

下水道等環境問題特別委員会

委員長 大南 勝

加入率を促進せよ 事業計画の見直しも必要

12月15日、午前9時より委員会に先立ちまして三好浄化センターを視察しました。平成19年度から2基めの処理槽増設工事を行っており、工事はすでに完了していましたが、まもなく完成検査を行うという状況でした。完成した施設の概況を担当職員に説明していただいた後、三加茂庁舎に帰り、午前10時より

委員会を開催しました。まず、下水道の進捗状況ですが、管きよ布設工事の整備率が事業認可区域の87パーセントに達し、末端部等では受益者が少なく整備効率の悪い工事も生じているようです。事業の見直しなどにより、整備効率の良いところから工事を行うよう要請しました。また、事業計画を立てた後に、



三好浄化センターの視察

その地域の受益者にちゃんと説明をするように。それから加入促進をしてから工事を進めていくように要望しました。

現在の加入状況は、下水道への接続率が合併前の平成17年度末の約50パーセント弱から平成19年度以降は約60パーセントになっています。このように、加入の推進が遅れている状況で、議会も町も一体となって加入促進に努力しなければならぬと痛感しました。川原町長からも、加入促進及び計画内にはあるが効率の悪いところは合併浄化槽で対応していくなど、事業計画の見直しをする必要があるとの答弁をいただきました。

三好浄化センターの視察

三加茂財産区管理運営特別委員会

委員長 川原正一

地域由来の地区財産 財産区総会制に



三加茂財産区の山々

12月14日に開催された委員会の主な内容を報告します。三加茂財産区の財産である「山」は、自治法制定以前の大昔から地域の人たちが使用収益してきた入会権の存する「地域由来の地区財産」であって、町の財産ではありません。ですから、財産区にあつかいについては、財産区住民の意思によらずして、町や議会で処分することはできないのです。

財産区悉皆調査報告書(富修大学、東京大学、一橋大学共同調査)によると、全国の財産区は、管理方式は、管理財産区1736箇所、財産区議会628箇所、財産区総会105箇所、その他の管理方式1079箇所と多様です。三加茂財産区の管理運営についても、後からできた自治法に縛られることはありませんが、合併により三加茂財産区が設立されたことに伴って自治法上の管理規定を付する場合には、最も民主的

住民が安心して管理運営を任せられる方式として「財産区総会」とすることが最も賢明なものです。

山林の管理費用については、分取契約を結んでいるため、現状では公社・公団から支出され、町の負担はありません。財産区の第一の目的は、財産区住民の利益を守ることです。かつて、三庄・加茂財産区において、それぞれ7名の管理委員によって管理されていたために、財産区住民の利益を省みることもなく、財産区山林からの収益金も財産そのものまで全てが町へ移管されてしまうという過去があります。

ですから、最も民主的で、安心かつ合理的な管理方式である「財産区総会」としなければならぬのです。町長には速やかに県知事に申請して、県知事から「三加茂財産区総会設置条例」を提案してもらうようにお願いをして、委員会を終了しました。



挨拶をするつぎ町の村上議長

期末手当を引き下げ

11月26日に開催された第4回臨時会において、町職員の給与・報酬の減額に関する条例の改正など4議案が提案され、原案の通り可決しました。人事院勧告に基づき支給割合を改正するもので、一般職は期末、勤勉手当を合わせた計0.35ヶ月を減額。特別職(町長・副町長)、教育長、町議会議員は、0.25ヶ月分が減額されます。また、行財政改革の一環で、19年度から職員の給与を3%カット削減していたものを1月から解除します。しかし、町長は10%、副町長・教育長は5%、町議会議員は3%カットのまま継続します。

新型インフルエンザワクチン接種に 1,275万円

全国で猛威を振っている新型インフルエンザ。町内の小中学校でも学級の閉鎖が相次いでいますが、その新型インフルエンザワクチン接種軽減補助金1,275万8千円が計上されました。生活保護世帯や非課税世帯で優先対象者である基礎疾患を有する方、低年齢の1歳以上の幼児などにワクチン接種費用の負担軽減をします。財源は県補助金760万円と、町のお金515万8千円です。



©fumira

第2回臨時会

平成21年11月26日、第4回臨時会を開催しました。この議会では専決処分の承認(平成21年度一般会計補正予算(第10号))や人事院勧告による職員の給与に関する条例の改正など6議案を審議し、原案の通り可決しました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計補正予算(第10号)	3,906万2千円	95億7,160万1千円



被災した町道法市内野線

平成21年8月9日～10日にかけて台風9号が襲来し、東山・葛籠地区で104ミリ、西庄・加茂山地区で149ミリの降雨量(24時間)となり、町道法市内野線を含め三好地区で7箇所、三加茂地区で1箇所被災しました。合計8箇所の工法の確定によって、今回の公共土木施設災害復旧事業費は2,560万円となりました。(災害復旧事業の認定を受けるには、降雨量(24時間)が80ミリ以上の場合です。)

災害復旧に
2,560万円



被災した大藤地区町道中込線

5 議員

10項目の質問を行い、町の考えをたずねました。

まちの考えを問う

坂本 健 全国で初めて梅酒の特区認定を受けた吉野川市美郷地区。先般、梅酒まつりのイベントが新聞やテレビで放送された。いわゆるどぶろく特区（濁り酒、または果実酒を製造するため、最低製造数量基準、年間6キロリットルを適用しない制度）だが、全国では91の事業所が認定され、四国でも愛媛県内子町、高知県大豊町で認定されている。特区の認定を受けることによって、町のPR、観光客などの交流



さかもと けん 二議員

どぶろく特区申請をして地域の活性化を図れ
産業課長 ▼地域の熱意と要望があつてこそできる

一般質問

人口の増加や酒米の栽培育成が見込めることから、東みよし町でもどぶろく特区の申請をしてはどうか。

産業課長

どぶろく特区について

では、特区内で農家民宿や農園レストラン等を営む農業者の方が濁り酒を製造する場合には、要件を満たしていれば、数量の多寡を問わず、濁り酒の製造免許を受けることができる。東みよし町では、現在のところ農業を

しながら民宿等を営んでいる方はいない。しかしながら、グリーンツーリズム施設「いやしの里増川笑楽耕」の方々が宿泊客に濁り酒を提供するなど、都市住民との交流を図りながら、地域振興を図ることは可能かと思う。地域の方の熱意と要望があつてこそ提案できるが、今後、関係部署と連携をとりながら積極的に働きかけていきたいと思う。



いやしの里 増川笑楽耕のパフレット

東みよし町もたばこ特区申請をしてはどうか

町長 ▶ 三好市の特区申請の経過を待ちたい

坂本 健

東みよし町も古くからたばこで栄えた町として、周りにも専売公社、日本たばこへ勤めた方も多くいると思う。先般の徳島新聞には、阿波葉の作付が終わったと報道された。また、12月7日の新聞には三好市が全国初のたばこの特区申請をしたという記事が載った。東みよし町もかつては阿波葉の生産地であり、地域の活性化という観点からも特区の申請をしてはどうか。

川原 町長

阿波葉の栽培というか生産については、作付から乾燥まで我々の記憶に残る一つの歴史みたいなものがある。葉たばこの生産で生計を立て、地域の活性化を進めてきたところもあるかと思う。いろんな景観の問題なり地域の活性化を考えると、何かできればという思いがあるので、三好市の特区に賛成をし、できれば関係を持ちながら、当町でも生産ができればといった考えはある。三好市の特区申請がどうなるのか、期待を持って経過を待ちたい。



三好市の特区申請した記事



なかがわ ゆうじ
中川 祐司 議員

三好学校給食センターの有効活用は

町長 ▶ 農産物の加工施設に



増築中の三加茂学校給食センターを視察する委員

中川

三好学校給食センターを三加茂学校給食センターに統合するということで、現在三加茂学校給食センターを増築中だが、統合後、三好学校給食センターの活用方法を考えているのか。

川原

三好学校給食センター

は、平成5年3月に竣工。鉄筋コンクリート2階建て、総面積406平方メートル、総工費1億1,264万円、内国庫補助金から3,064万1千円。耐用年数は60年となっている。施設の転用等の財産処分については、文部科学大臣への報



川原町長

告となり、有償譲渡、有償貸し付けでの財産処分を除けば国庫納付に関する条件を付されないとされている。本年度末をもって文部科学大臣に財産処分報告を行う予定にしている。

川原

町内に生活改善センターとか西庄地区の加工所で農産物の加工など、それぞれのグループが頑張っている。しかし、手で使われる頻度が多く、使

用できない方もいると聞く。かねてから、加工所の増設なり、設備の充実等の要望があったので、その方向に向けて検討し、十分使用できるような計画をもって進みたい。

給食センター統合後主要食材の購入方法は

教育長 ▶ 原則は登録業者での入札



さいとう ゆうじ 議員

齋藤

現在、三好

両学校給食センターへ燃料及び主要食材を納入している業者数とその購入方法はどのようになっているのか。また、統合後、来年度からはどのようにするのか。

川原

現在納入

している業者には、良心的に納入していただいている。燃料については、町内業者3社。食材については、町内業者、団体を含め38社、町外業者、県給食会共同購入を含めて10社ほどの納入業者がある。購入方法は、三好学校給食センターは慣例



給食センターへ食材を納入中

により町内業者で順番に購入。三加茂学校給食センターでは、野菜は入札、その他については見積りによる価格設定をし、購入している。産直市からの購入の場合は、両センターとも業者価格、市場価格を参考に両者の話し合いで購入を決定している。

則、登録した業者の見積り、入札等により購入することを基本と考えている。



川原教育長

22年度に向けては、納入を希望する業者にあらかじめ物資納入業者登録申請をしていただく。原

今後の福祉政策の進め方は

町長▶町の状況が安定した中で考えていく



ほせがわ よしまさ
長谷川 吉正 議員

町村に誇れる制度はあるのか。

福祉課長

第3子以降、3歳以上の児童が単独で保育所に入所した場合、保育料が完納した方に限り、月額保育料の1/4の額を入所月数分返す制度、保育料の軽減措置を行っている。また、町独自で不妊治療助成（10万円を限度）制度を、少子化対策の一環として行っている。

した場合、どの位かかるか試算をしたことはあるのか。火災報知器についてもどうなのか。今後の町の福祉政策をどのように進めていくのか。

福祉課長

乳幼児医療助成として、1学年上げると約300万円ほど必要だ。火災報知器については、試算を行っていない。

川原町長

合併をして4年目を迎えたが、行財政改革ということでは、すべてカット一辺倒でやってきた。今後、改革を進めていく中で、重点的にプラスに向けて動くところも必要だと考えている。来年度以降、町の状況が安定した中で考えていこう。

長谷川

東みよし町では、福祉政策として小学校3年まで乳幼児医療助成をしているが、他町村では小学校卒業、中学校卒業まで助成しているところがある。また、住宅用火災報知器についても、三好市では75歳以上の高齢者世帯に限り補助をしている。本町の福祉政策で、他

長谷川

本町の乳幼児医療助成は小学校3年生までだが、他町村のように卒業まで町単独で助成

している。



雪の日でも元気な子どもたち

加茂第2堤防の側道は

町長▶十分検討し判断していく

長谷川

加茂第2堤防計画について、現在国土交通省の吉野川と地域文化・交流景観を考えるワークショップが5回開催された。その話の中には、加茂第1堤防のような側道というものの考え方が入っていない。原地区の農免道路に重なる部分については、内側へ農免道路をとっていきようだが、町としてはどのように考えているのか。

川原町長

加茂第2堤防については、本年8月に整備計画が完成した。その計画をもとに、現在調査が入っている。側道についての計画は、まだはっきりしていない。町としても何らかの形でこの地区にそれなりの道をとる思いはあるが、堤防の残地が今後どういう形で利用されるのか、どういう形で開発されるのかということも課題だ。国土交通省では、本年度内に法線を決定することなので、その決定をもとに町としては、いろいろ検討し、まとめていきたい。



加茂第1堤防沿いの側道

式典では町旗の掲揚も

教育長▶町旗の掲揚を徹底する

長谷川

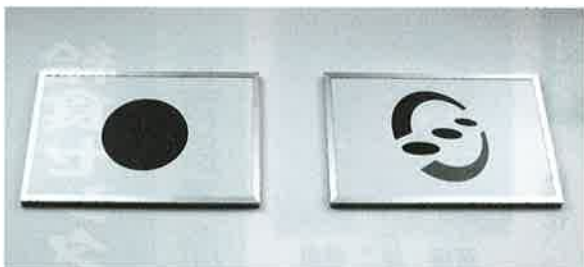
町内の小学校・中学校

校などの入学式、卒業式、運動会では、国旗を掲揚している。町立の学校では、国旗と同じように町旗を掲揚してはどうか。

川原

教育長 これまで国旗、町旗の掲揚については、学校

長の判断にまかせ、各学校ともバランスのとれた、歩調を合わせた掲揚となっていない。これを機会に、校長会で周知徹底をし、式典のときには掲揚するようにしたい。



議場に掲揚している国旗・町旗

臨時職員の長期雇用の問題

町長 ▶ 今後検討していく



かわはら しょういち
川原 正一 議員



フレッシュな成人者

川原

東みよし町の臨時職員について、現在の職員数と、一番長く雇用している方の年数及び臨時職員の給与はこのくらいなのか。

総務課長

臨時職員は毎年公募を行い、台帳登録された上で資格取得者を優先的に採用している。現在41名が勤務している。41名のうち5年以上勤務が12名、17年の者が1名いる。給与は、昨年月給14万円だったものを15万1千円に改正している。

川原

民間企業においては、会社の需要に応じて派遣社員とか、非正規社員を雇

用している。しかし、地方公共団体が長期に渡って臨時雇用するということとはどういふことなのか。能力があるから雇用するのであれば正規採用してはどうか。

川原町長

臨時職員については、合併当初70名近くいたが今では41名となつています。合併2年目からは公募という形で1年間という契約のもとで雇用している。連続しての雇用に問題があるとの指摘だと思つたが、新しい公募の形となつて3年目になるので、今後については検討する必要があると思つている。

教育費の他への流用は

総務課長 ▶ ほとんど予算要求どおり

川原

学校の教材、備品等の

経費は町の普通交付税の中に含まれて交付措置がされている。しかし、全国の市町村では、それらの金が教育費にはなく道路の改修や、新設のための一部資金とか他に使用されているところが多いと聞く。東みよし町では、教育費として交付税に含まれて、交付された金額はいくらなのか。

総務課長

教育費の通常予算については、小学校、中学校

ともに予算要求を学校教育課に提出し、町の財政部局でヒアリングを行う。その後、教育委員会の会議にかけてから議会で諮っている。現状、ほとんどが経常経費なので、ほぼ予算要求どおりの状態だ。
下記の通り、平成21年度の小学校(基準人数720人) 中学校(基準人数600人)当初予算においての、交付税算定基準額の総額は805万5千円となる。

平成21年度小中学校当初予算状況 交付税算定基準額

	項目	基準人数	総額(円)	一人当(円)
小学校	教材用図書・備品	720人	3,102,000	4,308
	学校図書	720人	670,000	931
	給食設備備品及び理科設備備品	720人	53,000	74
中学校	教材用図書・備品	600人	3,002,000	5,003
	学校図書	600人	1,146,000	1,910
	給食設備備品及び理科設備備品	600人	82,000	137

町の職員数の推移は

総務課長 ▶ 227名から182名に

川原

東みよし町の職員数は、合併当初に対してどのくらい削減したのか。

総務課長

合併前の平成17年4月1日の両町合わせての職員数は227名だったのが、平成21年4月1日には190名(この間の退職者数は41名で、新規採用人数は4名)の37名の減となっている。なお、平成22年3月末には8名が退職するので182名となり、計画より6名多く減少することになる。



勤務中の職員

議会を傍聴 しませんか

皆さんが選んだ代表が
議場でどんな発言をして
いるのか自分の目と耳で
お確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越し
下さい。

定例会は年4回(3月・
6月・9月・12月)に開
かれます。

日程・手続き等は議会
事務局へお問い合わせく
ださい。

TEL 82-6317



次の定例会は
3月です。

特別表彰受賞



木村吉男議員

11月11日に開催された全
国町村議会議長会におい
て、木村吉男議員が30年に
わたり町議会議員として地
域社会の発展及び住民福祉
の向上に尽くされた功績に
より特別表彰されました。

まちの



●シリーズ6●

仲良し

東みよし町のファミリー

大阪生まれの潤子さんと三加茂生まれの一
将さんは 1998 年に結婚しました。



問 二人の出会いとは?

一将さん 大学時代のアルバイト先のカラオ
ケボックスで知り合いました。
(潤子さんも同じアルバイトをしていた。)

問 お互いの第一印象は?

一将さん 話をしやすい人だなと思いました。
潤子さん 誠実そうな人だなと思いました。

問 結婚してよかったと思うことは?

一将・潤子さん
3 人の子どもにめぐまれ、明るい家庭
を持てたことです。

問 町での生活はどうか?

潤子さん あまりにも田舎でびっくりしましたが、大阪の水と比べて、水道水
がおいしかったです。長女のバレーの応援に行くのが楽しみです。

問 町に望むことはありますか?

一将さん 町にもっと雇用の方があればいいと思います。
潤子さん 堤防沿いの側道が明るくなればいいと思います。

編集後記

▼合併によって東みよし町が誕生して、
早や4年が終わろうとしています。この
4年の間には、国民文化祭俳句大会の開
催をはじめ、参議院選挙などがあり、昨
年8月の衆議院選挙においては政権交代
がおこり、民主党連立政権が誕生しまし
た。

▼厳しい町財政のなかで、皆様のご理解
やご指導をいただきながら「議会だより」
を発行してきました。広報特別委員は、
定例会終了後に2回の委員会を開催し
て、発行に取り組んできました。今回の
15号が私たちの任期中に発行する最後
の号となります。

▼編集に携わり、特に思い出に残ってい
る事は、平成20年11月に鳥取県北栄町議
会広報委員会の視察を受け、逆に翌年8
月には、私たち委員が北栄町議会へ伺い、
進んだ編集体制を研修し、交流を深める
ことができたことです。

▼最後に、「議会だより」をお読みいた
だきまして、ありがとうございました。

広報特別委員会

副委員長 長谷川 吉正